

1	1868	28	1937
2	1869	29	1938
3	1871	30	1941
4	1873	31	1945
5	1874	32	1946
6	1877	33	1947
7	1886	34	1951
8	1889	35	1956
9	1890	36	1965
10	1894	37	1972
11	1895	38	1973
12	1902	39	1978
13	1904	40	1987
14	1905	41	1990
15	1910	42	1992
16	1911	43	1993
17	1914		
18	1915		
19	1918		
20	1919		
21	1922		
22	1923		
23	1925		
24	1931		
25	1932		
26	1933		
27	1936		

1	五か条の御誓文	ごせいもん	28	主権	しゅけん	55	台湾	たいわん
2	五榜の掲示※	ごぼう けいじ	29	臣民	しんみん	56	ドイツ・フランス	ドイツ・フランス
3	版籍奉還	はんせきほうかん	30	15		57	満州	まんしゅう
4	華族	かぞく	31	25		58	日英同盟	にちえいどうめいりょう
5	平民	へいみん	32	1		59	アメリカ	アメリカ
6	廃藩置県	はいはんちけん	33	30		60	与謝野晶子	よざのあきこ
7	開拓使	かいたくし	34	北海道・沖縄	ほっかいどう・おきなわ	61	セオドア・ルーズベルト	セオドア・ルーズベルト
8	屯田兵	とんでんへい	35	貴族院	きぞくいん	62	日比谷	ひびや
9	富岡製糸場	とみおかせいしじょう	36	鹿鳴館	ろくめいかん	63	南満州	なんまんしゅう
10	フランス	フランス	37	木戸孝允	きどたかよし	64	樺太※	かぶと
11	富国強兵	ふこくきょうへい	38	岩倉具視	いわくらともみ	65	ソウル	ソウル
12	殖産興業	しょくさんこうぎょう	39	伊藤博文	いとうひろぶみ	66	安重根※	アンジョン
13	20		40	大久保利通	おおくはとしみち	67	石川啄木	いしかわたくばく
14	山県有朋	やまがたありとも	41	征韓論	せいかんろん	68	生糸	きいと
15	地券	ちけん	42	西南戦争	せいなんせんそう	69	富国強兵	ふこくきょうへい
16	地租改正	ちそかせいせい	43	日朝修好条規	にっしゅうじゅうこうじょうき	70	八幡製鉄所	やはたせいてつじょ
17	3		44	榎本武揚	えのもとたけあき	71	労働争議	ろうどうそうぎ
18	西南戦争	せいなんせんそう	45	樺太・千島	からふと ちしま	72	渋沢栄一	しぶさわえいいち
19	征韓論	せいかんろん	46	小笠原諸島	おがさわらしょとう			
20	板垣退助	いたがきたいすけ	47	和歌山	わかやま			
21	民選議院設立建白書	みんせんぎいんせつりつけんぱくしょ	48	治外法権	ちがいほうけん			
22	薩長土肥	さつちょうどひ	49	陸奥宗光	むつむねみつ			
23	自由党	じゆうとう	50	イギリス	イギリス			
24	立憲改進党	りっけんかいしんとう	51	小村寿太郎	こむらじゅたろう			
25	秩父事件	ちちぶじけん	52	甲午農民戦争	こうごうのうみんせんそう			
26	伊藤博文	いとうひろぶみ	53	下関条約	しものせきじょうやく			
27	ドイツ	ドイツ	54	遼東半島※	リャオトン			

入試で漢字指定が多いため漢字で書けるようにしておくこと。ただし、※印のところは、ひらがなでも正解になります。

1 尾崎行雄	28 ジュネーブ	55 治安維持法
2 大正デモクラシー	29 アメリカ	56 軍国主義
3 サラエボ事件	30 ドイツ	57 北京
4 オーストリア	31 新渡戸稻造	58 盧溝橋※
5 日英同盟	32 メーテー	59 南京
6 イ	33 青鞆※	60 國家総動員法
7 大戦景気	34 平塚雷鳥	61 ポーランド
8 成金	35 全国水平社	62 フランス
9 財閥	36 京都	63 アウシュビッツ
10 電力	37 小作争議	64 杉原千畝※
11 大隈重信	38 ①	65 命
12 二十一か条の要求	39 25	66 日独伊三国同盟
13 中華民国	40 男性	67 大政翼賛会
14 吉野作造	41 20	68 大日本産業報国会
15 民本主義	42 1	69 隣組
16 ソビエト社会主义共和国連邦	43 治安維持法	70 国民
17 魚津	44 サラリーマン	
18 米騒動	45 円タク	
19 立憲政友会	46 地下鉄	
20 平民政相※	47 南満州鉄道爆破事件	
21 原敬	48 15	
22 ベルサイユ	49 生命線	
23 パリ	50 犬養毅	
24 三・一独立運動	51 海軍	
25 五・四運動	52 リットン	
26 ソウル	53 陸軍	
27 ウィルソン	54 二・二六事件	

1 日ソ中立条約	28 極東国際軍事裁判	55 池田勇人
2 ベトナム	29 東条英機	56 高度経済成長期
3 樺太	30 靖国神社	57 経済大国
4 台湾	31 人間宣言	58 1964
5 イギリス	32 メーテー	59 東海道新幹線
6 オランダ	33 閣市	60 日本万博博覧会(大)
7 パールハーバー	34 教育基本法	61 三種の神器
8 東条英機	35 独占禁止法	62 イ・エ・オ
9 学童疎開	36 労働基準法	63 10分の1
10 ヤルタ	37 中華人民共和国	64 エネルギー革命
11 ソ連	38 38	65 環境基本法
12 平和の礎	39 アメリカ	66 固定相場制
13 ③	40 ソ連	67 変動相場制
14 中華民国	41 中国	68 1973
15 ②	42 警察予備隊	69 素材型産業
16 ミズーリ号	43 特需景気	70 組立型産業
17 小笠原諸島	44 サンフランシスコ平和条約	71 貿易摩擦
18 マッカーサー	45 千島	72 バブル景気
19 治安維持法	46 イ・ウ	
20 財閥解体	47 才	
21 11月3日・文化の日	48 日米安全保障条約	
22 5月3日・憲法記念日	49 日ソ共同宣言	
23 吉田茂	50 日韓基本条約	
24 国民主権	51 小笠原諸島	
25 基本的人権の尊重	52 沖縄	
26 平和主義	53 日中共同声明	
27 農地改革	54 日中平和友好条約	

- 記述1 ○切手をはってポストに入れれば、全国どこへでも届く。○身分に関係なくだれでも利用できる。
- 記述2 ○全国一律の料金で利用できる。○個人ではなく国が経営している。○都市だけでなく、全国で利用できる。
- 記述3 教育レベルの高い士族の娘たちを女子労働者として育成し、全国に技術を広める役割を担わせた。
- 記述4 軍艦を買い軍備を拡大していった。
- 記述5 寺子屋ではそれぞれの子供たちの理解に合わせて教え、学校では全員に同じ内容で教えている。
- 記述6 天皇が憲法を国民にあたえるという形で発布されている。
- 記述7 だれがだれに投票したかが分かるようになっていた。
- 記述8 ロシアの勢力が中国や朝鮮におよぶことを防ぐために、イギリスが日本を味方につけようとした。
- 記述9 増税にたえて戦争をさせたのに、ロシアから賠償金がとれなかったこと。
- 記述10 朝鮮人に日本語の使用が強制され、日本人名を名のらせ、朝鮮の民族意識を失わせ、日本に抵抗する民族運動をなくすための教育が行われた。
- 記述11 工業生産額が農業生産額を上回り、日本が農業国から工業国になった。
- 記述12 ○大戦景気によって工場や鉱山で働く人たちがたくさん必要になり、農村から働き手が出て行き、米の生産が低下したこと。○シベリア出兵を見こした米商人が米を売りおしつけしたこと。
- 記述13 制限選挙から、納税額に関係なく選挙権をもつ普通選挙になったため。
- 記述14 中国を日本の植民地にして資源を安く手に入れ、輸出を増やして日本の不景気を解決しようとした。
- 記述15 犬養毅が満州国の承認に反対していたため。
- 記述16 戦争を続けるために、石油やゴムなどの資源を手に入れる必要があったため。
- 記述17 このとき、ソ連はまだ日本と戦争をしていなかったため。
- 記述18 ○アメリカの力で日本を降伏させたことを示すため。○戦後の国際社会の中でより有利な立場に立つため。
- 記述19 政府が地主の農地を強制的に買い上げ、それを小作人に安く売り渡す。
- 記述20 戦後の食糧不足を解消するため。
- 記述21 日本の独立がはやまる結果になった。
- 記述22 社会主義国は、アメリカに有利な内容の条約を認めなかつたため。
- 記述23 日本がアメリカの戦争にまきこまれる恐れがあるため。